

**対ジャマイカ草の根・人間の安全保障無償資金協力
「ハノーバー教育協会研修施設建築計画」
引渡式**

2019年11月7日、ハノーバー県において、対ジャマイカ草の根・人間の安全保障無償資金協力「ハノーバー教育協会研修施設建築計画」の引渡式が実施されました。

土生川参事官は挨拶の中で、ジャマイカにおける日本の草の根事業では、特に教育分野に重点を置かれており、本計画の完了によって、高校中退者・無職の若者の雇用に必要な教育及び職業訓練を提供することが可能となると述べ、地域全体の活性化に繋がることを期待しました。さらに、今後も日本はジャマイカとのパートナーシップを強化していきたいと述べました。

ハノーバー教育協会は、モンテゴ・ベイやネグリル等の観光地を擁する県と隣接し、高校中退者を対象とした、観光分野への就職を後押しする職業訓練施設として2002年に設立されましたが、資金不足によって研修施設の増築ができない等の困難な環境に直面していました。

本計画を通して、より多くの若者に対し、ホテル勤務等の観光業に従事するための訓練を実施することができ、地域の雇用状況の改善および住民のエンパワメントに寄与することが期待されています。

今般の引渡式には、被供与団体である同協会の校長及び理事長、ヘイルス下院議員（ハノーバー県西地区選出）などのジャマイカ側の来賓を始め、高野 JICA ジャマイカ支所長、学校関係者、報道関係者、地域住民代表などが出席しました。

被供与団体を代表してヘイ校長は、JICA 海外協力隊隊員を同校に派遣してきた JICA に感謝を述べるとともに、本件は若者の雇用状況の改善と質の高い観光業の促進に繋がると述べ日本の支援を高く評価しました。ヘイルス下院議員は、観光産業の重要性を述べ、今回の支援で若者へ質の高い研修を提供することができるようになる喜び、日本と今後一層の連携を強化していきたいと述べました。



挨拶する土生川参事官



ヘイルス議員（ハノーバー県西地区）



ヘイ・ハノーバー教育協会校長



デビス・ハノーバー教育協会理事長



建築された新研修施設のテープカット



式典に参加する学校関係者、地域住民代表